

地域包括支援センター運営協議会の会議結果報告

1. 会 議 名	平成 29 年度第 1 回松阪市地域包括支援センター運営協議会
2. 開 催 日 時	平成 29 年 7 月 3 日（月） 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分
3. 開 催 場 所	松阪市健康センターはるる
4. 出席者氏名	<p>(委員)</p> <p>志田会長、津田副会長、小林委員、岩瀬委員、大津委員、三宅委員、竹田委員、川上委員、植嶋委員、山口委員 計 11 名、欠席 2 名</p> <p>(地域包括支援センター)</p> <p>地域包括支援センター職員 計 10 名</p> <p>(地域振興局)</p> <p>飯高振興局地域住民課久世課長、飯南振興局地域住民課藤川課長、嬉野振興局地域住民課北村課長、三雲振興局地域住民課田口課長</p> <p>(事務局)</p> <p>高齢者支援課石川課長、介護保険課：田中課長、高齢者支援課松田担当監、地域包括支援係：西山担当監、森本主任、大西主任、稲垣主任、認知症地域支援推進員：奈良</p>
5. 公開及び非公開	公 開
6. 傍 聴 者 数	1 名
7. 担 当	<p>松阪市健康福祉部高齢者支援課</p> <p>TFL 0598-53-4099</p> <p>FAX 0598-26-4035</p> <p>e-mail kourei.div@city.matsusaka.mie.jp</p>

協議事項

1. 平成 28 年度 各センターの実績報告と決算について
2. 平成 29 年度 地域包括支援センター運営方針について
3. 平成 29 年度 各センターの事業計画と予算について

議事録 別紙

平成29年度第1回運営協議会議事録

1. 開催日時	平成29年7月3日（月）午後1時30分～3時30分
2. 開催場所	松阪市健康センター「はるる」
3. 出席者	<p>(委員) 志田会長、津田副会長、小林委員、岩瀬委員、川岸委員、高橋委員、竹田委員、川上委員、植嶋委員、山口委員、三宅(義)委員 計11名</p> <p>(欠席委員) 三宅(明)委員、高木委員</p> <p>(地域包括支援センター) 第一地域包括支援センター：2名、 第二地域包括支援センター：2名、 第三地域包括支援センター：2名、 第四地域包括支援センター：2名、 第五地域包括支援センター：2名</p> <p>(地域振興局) 嬉野地域振興局地域住民課：北村課長、三雲地域振興局地域住民課：田口課長、 飯南地域振興局地域住民課：藤川課長、飯高地域振興局地域住民課：久世課長</p> <p>(傍聴) 1名</p> <p>(事務局) 高齢者支援課：石川課長、介護保険課：田中課長、高齢者支援課：松田担当監、西山担当監、森本係長、大西主任、稲垣主任、奈良認知症地域支援推進員</p>
4. 議事録	
事務局	<p>平成29年度、第1回松阪市地域包括支援センター運営協議会を始めます。三宅委員と高木委員は欠席です。</p> <p>本日の運営協議会は、昨年度の実績報告、地域包括支援センターの運営方針、今年度の地域包括支援センターの事業計画と予算を協議をいただきたいと思います。よろしくお願ひします。</p> <p>なお、本日の協議会は、情報公開の対象となっています。</p>
会長	あいさつ。
事務局	事項書2、委員交代です。三重県介護支援専門員協会松阪支部から川上委員が新たに就任されたので報告します。
委員	あいさつ。
課長	<p>事項書の3、報告事項</p> <p>現在、松阪市では地域包括ケアシステム構築を目指し、在宅医療・介護の連携支援センター（仮称）を平成30年4月に開設するため準備を行ってます。</p> <p>松阪市、多気郡などこの地域の在宅医療・介護の連携を図るため、松阪地区医師会館内に連携のための拠点事務所を設け、医師会と市の職員を配置します。</p> <p>現在、市職員を任期付き採用で募集し、遅くとも11月には採用して、医師会職員と2名体制に移って準備が進められるよう計画しています。</p>

	<p>また、拠点事務所では、地域医療・介護の資源の把握を行うほか、医療・介護連携のための研修会などの企画や情報共有のあり方を検討し、医療・介護関係者の相談支援を行うことで、在宅での暮らしを希望する方への支援につなげていく予定です。</p> <p>また、認知症ハンドブックは、昨年度認知症に寄り添う部会が、第四地域包括支援センターのセンター長を部会長として、松阪地区医師会など医療・介護・福祉の各分野の方と検討・作成（15,000部）した。関係者や市民の皆様にも周知・配布予定です。</p>
会長	<p>来年度から在宅医療・介護連携センター（仮称）が開設する予定です。今は第一地域包括支援センターにみえるが、来年度からお世話になると思います。</p>
第一職員	<p>来年度の拠点センターの立ち上げに向かって、地域包括支援センターの在宅医療、介護支援専門職の方と一緒に訪問させていただいている。</p> <p>在宅医療や介護の実情について実習をしている。現在はまだ松阪市の課題や実情について探している途中です。これから拠点が担っていく役割について模索している。</p>
会長	<p>行政、施設に回りますのでよろしくお願いします。</p> <p>続いて協議事項に入ります。</p> <p>平成28年度実績報告、運営方針について事務局説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料1、平成28年度実績報告について説明。</p> <p>資料2、平成28年度収支決算書について説明。</p>
会長	<p>実績報告と収支決算報告について、事務局から説明がありました。これについてご意見等をお願いします。</p>
委員	<p>8ページの介護予防ケアマネジメント業務、ケアマネジメントA、B、Cと書いてあるが分からないので教えて欲しい。</p>
事務局	<p>ケアマネジメントの種類。総合事業が始まってからA、B、Cと分けているが、Aは今まで通りの介護予防支援と同じ内容でしていただく。Cは住民主体の介護予防、集いの場を運営していただいたところに市が委託するとそこへのプランを立てていただいたらCになる。</p> <p>訪問についても住民主体で訪問サービスBを立ち上げていただくとCになる。</p> <p>プランはCに行くほど緩和されている。BはAとCの中間にあたる。</p> <p>今の事業でBにあたる事業はまだ無い。ケアマネジメントの内容はCに行くほど緩和される。</p>
会長	<p>ケアマネの方、補足をお願いします。</p>
委員	<p>今まで通り正式にアセスメントしてプランニングしてモニタリングをするのがA。ケアマネジメントの役割を少し軽減したのがB或いはCになる。</p> <p>Cになるとアセスメントだけしてプランは無し、モニタリングも無し、松阪市の場合は関わりは最初だけです。専門的な関わりの度合いに応じてA B Cに分けられている。</p> <p>セルフマネジメントを今後強化していきましょう。自分のことは自分でしていくような環境を作っていきましょうということになります。それが総合事業の目的でもある。</p>
委員	<p>地域包括支援センターによって特徴は違うことはわかるが偏りがある。</p>
会長	<p>地域の特性はあると思うが、事務局お答え下さい。</p>
事務局	<p>数字について大きな差が出ているが、昨年度一昨年度を比べても同じ傾向は出ている。</p>

	法人の違いにより差が出ていると思うが、カウントの仕方も解釈が難しいところはある。現状として数字を一律にしていくのは難しい。
会長	第一地域包括支援センターの方、そのあたりの説明をお願いします。
第一包括	第一地域包括支援センターは医師会立ということもあり一生懸命行っている。予防プランを作成するに当たり一つのプランについて医師に連絡したりするので多くなっている。
会長	29年度の予算のところではそれぞれの地域包括支援センターから話があると思います。よろしくお願いします。
副会長	<p>まとめの2ページ。6、認知症地域支援体制構築等推進事業、認知症サポーター養成講座、実施状況のサポーター数の累計としては年々増えているが、サポーターの伸び率で27年度から28年度を見るとおよそ700名の減となっているが、高齢者支援課ではどのように考えているのか。</p> <p>キッズサポーターについて各校区で積極的に活動している。キッズサポーターにはどのような質的なものを求めているのか、小学生のサポーターは何をしていけば良いのか、何を担っていけば良いのか？教えてください。</p>
事務局	<p>全国的にもキッズサポーターは目標値があがっていて、松阪市としては取り組みが始まって10年くらいだが、自治体の中で県内ではトップの状況です。</p> <p>人口当たりだと全国的には7%の方がサポーターになっている。松阪市の場合は10数%という状況。</p> <p>サポーターの養成については企業、地域、学校にお願いもしている。忙しい中でサポーター養成は難しい面もある。年度初めにキッズサポーター養成について学校に声掛けをして、授業の合間を縫ってという形になるので難しい面もあるが、増えてきている。</p>
事務局	<p>キッズサポーターの状況ですが、各地域包括支援センターも学校へ熱心にアプローチをし、市も教育委員会、学校の校長会に取り組んでいただくようお願いしている。</p> <p>その中で小学校は36校あるが、そのうち30校近く実績が出てきた。子どもたちから感想をもらい、担任の先生からは良い部分はあると感想を寄せていただいている。そういったことを校長会にフィードバックし、学校からは良い心の教育になるといった意見を頂いている。</p> <p>サポーター数は減っているが高齢者安心見守り隊のフォローに力を入れていただいているのでそのあたりの数字が表れている。</p>
委員	地域ネットワークの構築①②で出席者数が挙げられている時は、全体数に対する割合があれば予測できると思います。
会長	平成29年度地域包括支援センター運営方針について事務局説明をお願いします。
事務局	平成29年度運営方針について説明。
会長	<p>第6期が最終年度になっている。現在、平成30年度からの第7期の介護保険事業計画はすでに策定委員会を作って立ち上げつつあるが、そういう時点で第6期の最終年度として在宅医療の連携の拠点、認知症の初期集中支援チームの設置、来年スタートするので準備しているところです。</p> <p>新総合事業については、今年度から全面実施して平成30年に向かってさらに充実したものにしていくことになる。よろしくお願いします。</p> <p>その点についてご意見・質問がありましたらお願いします。</p>
委員	地域の介護と医療の連携拠点、来年運用されようとしている。各種専門職の方々の仕事がスムーズに行えるような相談窓口になるよう、どんな資料が必要なのか調査しながら、相談に答えられるようシステムを作る段階で努力をしている。

	<p>地域包括支援センターは住民の方々の相談にのっていただくが、さらに専門医とのつながりを立ててやっていただくと考えている。</p> <p>在宅での医療が必要な方に対する動きというのは来年は変わっていくだろうと思うが、今までにやっているサポーターの養成とか高齢者に対するフォローアップ教室などにより、元気な高齢者がたくさんいるので、そういう方が地域の介護予防を支えるような機運があがっていけば良いと思っている。</p>
会長	平成28年度実績報告、平成28年度収支報告、平成29年度運営方針についてよろしいですか。
委員	はい。
会長	<p>ありがとうございます。平成29年度各地域包括支援センターの事業計画、予算について第一から第五まで地域包括支援センターの方からお願いします。</p> <p>事業計画の提案をお願いします。</p>
第一包括～第五包括	平成29年度各地域包括支援センターの事業計画について説明（資料4）
会長	<p>平成29年度予算作成にあたって地域包括支援センターで何かありましたらお願いします。</p> <p>平成29年度の事業計画、予算について、委員の皆さんにご意見を伺います。</p>
委員	<p>平成28年度の事業報告、数字だけを見ると各地域包括支援センター差があるように思えるので、地域包括支援センターの事情、地域の特性があるが、差がないようにしていったらどうか。</p> <p>地域包括支援センター同士が連絡を取って削れるものは削って、活かすものは活かすようにしていけば良いのではないかと。具体的にはないが。</p>
委員	<p>地域包括支援センターは、柔軟に対応していただければ良いのではないかと。</p> <p>全体的に取り組みは大変だと思っている。前年度からの結果に対する課題に対し29年度の取り組みということだが、全体的に人の面でどうか？</p> <p>地域に密着している中で地域包括支援センターとの情報共有を密にしながら、私達だけでは動けないので、地域の住民協、自治会など関係機関との連携をとりながら動かしていくことを改めて感じた。</p>
会長	是非よろしくお願ひしたい。
委員	地区でいろんな要望がある場合、どこにお願いしたらいいのか聞かれた場合、ちょっと分からないので聞いてみると言われる。即答はできないのか。
会長	内容にもよると思うが、どこにどのように聞いたら良いか。
事務局	<p>地区の自治会、老人会などで相談を受けて気になる方の情報を教えてもらえないかと言われた時に、もう少し待つて欲しいといった想定でお話を頂いたという事で良かったですか？</p> <p>個人情報を開示できない状況から連携が取りにくい。地域の支援連携していかなければいけないといったことでご質問を頂いたとすれば、そのあたりは苦労しているところだ。</p>

	<p>地域包括支援センターとしては、民生委員、自治会の方と出合う場合は今まで以上に増えて個人情報扱うことが多くなる。即答は難しいことはあるが、ネットワークづくりに力を入れていただいている現状はあると思う。</p>
会長	<p>委員よろしいですか。そういう例だけではないです。</p>
委員	<p>地区の老人会の方が例えばマジックをして欲しいと相談に来て、地域振興局の方に聞いたが、分からないのですぐに聞いてみますということだった。</p>
会長	<p>委員の地域包括支援センターはどちらになりますか。 第二地域包括支援センター、マジックをやりたいと言われたらどうするのですか。</p>
第二包括	<p>マジックをするボランティアの方と関わりがあったら案内できるが、お付き合いがない場合はボランティアセンターの方に分からないので知っている方に引き継ぐ形になります。 少し時間もかかるが分かる範囲でお答えします。</p>
会長	<p>直ぐには答えは出ないが、地域包括支援センターへ問い合わせをいただくという事ではよろしいんじゃないか。</p>
委員	<p>29年度の事業計画を聞かせていただいて幅広くされている。認知症などの支援について築かれたことが形になってきている。事業報告の自主グループの一覧表も見やすく分かりやすくなって、総合事業に向けた取り組みも進んでいることが目に見える形となっている。 幅広いバックヤードのようなものが大事。社協の方も行っているので相談に来ていただければと思う。</p>
委員	<p>限られた職員で膨大な仕事をしていることにびっくりしている。 営業時間なども工夫されているという事で、土日祝日、夜間、すぐに対応できる体制になっているか少し気になった。 第三地域包括支援センター、一人ケアマネジャー、相談できないケアマネジャーがたくさんいる中でこういう取り組みをしているのでありがたい。</p>
会長	<p>意見として伺っておきます。 医師会、薬剤師会、歯科医師会、三師会が包括の事業などに積極的に出席しているが、更に出席していただくように、或いは、三師会で研修会などされると思うが、包括の職員が勉強になる機会があればそこに参加できるようにしていただければと思う。今以上に考慮していただきたい。</p>
委員	<p>各地域包括支援センターの予算について、平成28年度の決算を見ながら平成29年度予算を作成している。事業所からのお力をもって繰り入れがありお世話になっている。認識させてもらっている。 地域包括支援センターの運営費、生活支援コーディネーターなどの人材の部分で予算をつけている。運営費についてこれまでは一律200万円であったが、29年度はセンターの職員数に合わせて、一人50万円ずつ予算付けして各地域包括支援センターに上乘せしている。 年々事業が多い中で毎年予算を見直しながら松阪市として編成しているので、よろしく願います。</p>
会長	<p>他ありませんか。 ないようですので、平成29年度各地域包括支援センターの運営方針、予算についてご承認いただければよろしいですか。</p>
全委員	<p>承認。</p>

事務局	全委員の任期が平成29年10月24日で満了となる。それに伴い各団体からの推薦を依頼します。
会長	次回の開催予定日について
事務局	第2回地域包括支援センター運営協議会は、10月頃に予定している。